



令和6年9月18日

保護者の皆様

大崎市立古川西小中学校

校長 猪股 徳幸

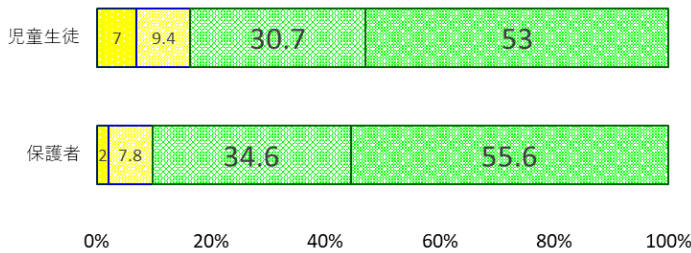
「学校・家庭生活についてのアンケート」結果と今後の取組について(お知らせ)

1 下図の項目においては、肯定的な回答が示され、今後も計画的な教育活動を展開していきます。さらに、不安な気持ちを抱きながら過ごしている児童生徒に目を向け、一人一人の目標設定に寄り添った時間の確保を計画的に実施していきます。

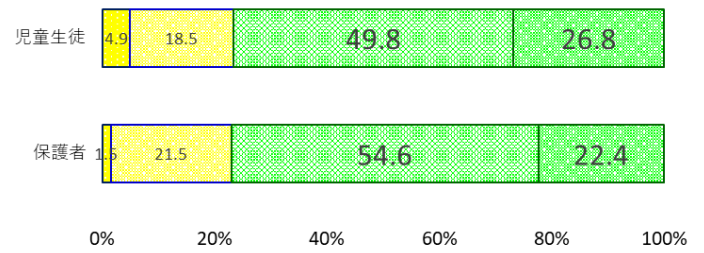
尚、本校教職員における働き方改革の視点を維持しながら、児童生徒の前向きな回答が維持されること及び改善が図られることにも留意して参ります。

(回答群 あてはまらない 1 2 3 4 あてはまる)

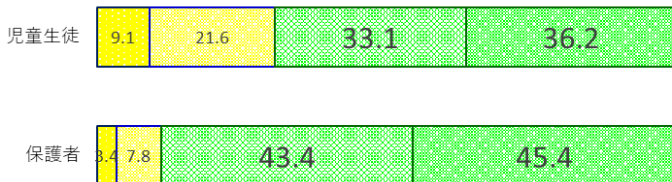
(1) 楽しく学校生活を送っている



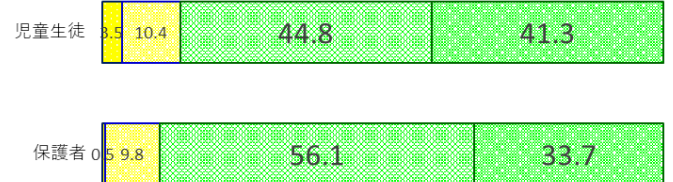
(2) 学習内容を理解している



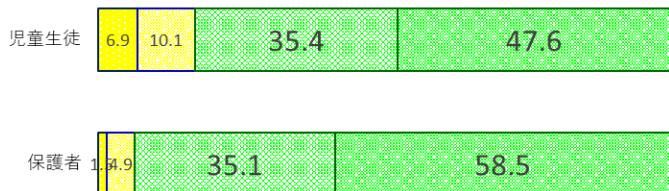
(3) 家庭で、紙の宿題またはワークに取り組んでいる



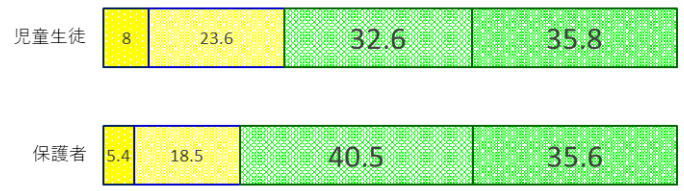
(4) 思いやりの心で、優しくすることができる



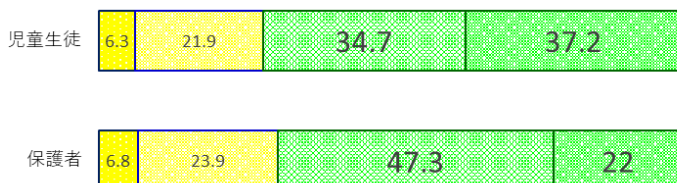
(5) 行事や習い事等で成長していると感じる



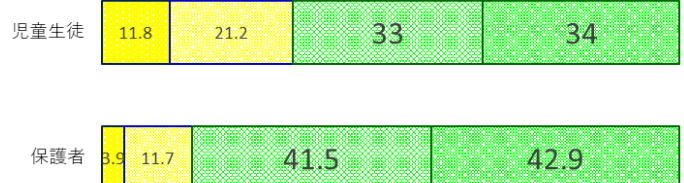
(6) 規則正しい生活ができる



(7) 自分から明るく元気な あいさつ ができる



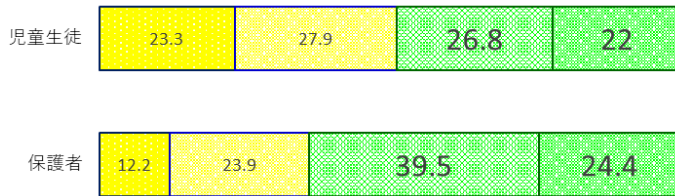
(8) 学校であったことを家族に話している



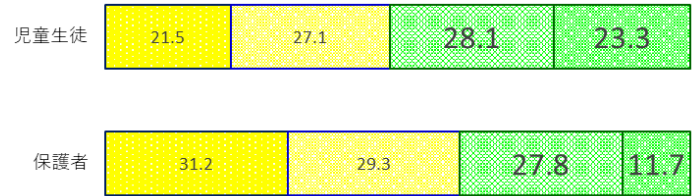
2 下図の項目においては、改善するための手立てを以下のように工夫していきます。

(回答群 あてはまらない ■1 ■2 ■3 ■4 あてはまる)

(9) 家庭学習として、Qubenaに取り組んでいる



(10) 家庭で、読書に親しんでいる



【項目(9)への改善策】

- ・Qubenaの取組を授業や課題配信に加えて、児童生徒が進んで家庭学習に役立てるような働き掛けを一層充実させていく。
- ・後期課程においては、家庭学習計画を立てる際に、補充的な学習にも対応できるQubenaの特長(全児童生徒が1~9年の5教科の内容を学習・復習できる)を再確認し、自主的な家庭学習を働き掛けていく。
- ・iPadを用いたフォローアップドリルとして、市教委より提供開始されたタブドリLIVE(前期課程は「国語と算数」、後期課程は「数学と英語」)の活用にも、全校を挙げて取り組ませる。
- ・上記を基に、児童生徒による自発的な家庭学習の充実と家庭学習の質を高めることへの意識を強化する。

【項目(10)への改善策】

- ・業前活動(毎週火曜日)の読解力向上の取組を継続し、読み物に触れる機会の大切さを教えていく。
- ・毎週1~2回実施している朝読書を継続し、読書に親しむ姿勢を育てていく。
- ・校内で整備されている図書室を、授業や休み時間に有効利用できるような視点を教師間で再確認し、児童生徒に働き掛けていく。
- ・図書室に配属されている図書館支援員の先生へ、児童生徒による図書選びの相談をする機会の働き掛けを行う。

3 保護者の皆様からの記述内容等を受けて、次のような視点で改善を図っていきます。

項目1 保護者の方より、「e-メッセージの保存期間の延長」について、話題が挙げられました。

項目1への回答

文書の保存期間を延長することは可能です。ただし、掲載文書の総容量に限りがあるため、新たな文書の発出ができなくなる可能性が生じます。このことから、現在同様「1か月」の設定で運用させていただきたいと考えます。いただいたご意見に対しての対応策としまして、次の2点に取り組んでまいります。

- (1) 長期間の保管が必要な文書については、閲覧可能期間内にデータをダウンロードしていただくよう、保護者の皆様にお願います。
- (2) 必要に応じて、各学年・学級において児童生徒のclassroomにもアップロードする。

項目2 「多様な専門性を有する質の高い先生方の形成」に関する話題が、複数挙げられました。

項目2への回答

- (1) 全ての児童生徒へのより良い教育の実現、安心した学校生活に向けて、管理職による校内での研

修の充実を図り、教師に求められる資質を確認すること・教員に対する揺るぎない信頼を確立することを徹底していきます。

- (2) 教師を取り巻く環境整備も適切にフォローアップし、学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進を図れるよう、これからも保護者の方々に丁寧に説明をしていきます。